

命どう宝

作詞 梅原司平
作曲 梅原司平

1

□□□

機を織る娘の 島唄に送られ
サンゴの海へと 船を漕ぐ男達
基地の島沖繩 恩納岳よ泣くな
ガジユマル根を張れ かき鳴らせサンシン
黒潮に抱かれて 愛を育てた島よ
又チドゥタカラ 世界の海へ届け

2

戦遠く過ぎても 爆音未だ止まず
校舎をかすめて 黒く影が走る
金網の路を行く 普天間のこともら
微笑み絶やすな 歌声を枯らすな
黒潮に抱かれて 愛を育てた島よ
又チドゥタカラ 世界の海へ届け

3

摩文仁の丘に眠る 幾万の島人
礎にささげた 赤いブーゲンビリア
奪われた大地に くるおしく咲く花は
荒れ地を開いた 祖先の命の花
黒潮に抱かれて 愛を育てた島よ
又チドゥタカラ 世界の海へ届け

命どう宝

作詞 梅原司平
作曲 梅原司平

1

□□■

機を織る娘の
島唄に送られ
サンゴの海へと
船を漕ぐ男達
基地の島沖縄
恩納岳よ泣くな
ガジユマル根を張れ
かき鳴らせサンシン
黒潮に抱かれて
愛を育てた島よ
又チドウタカラ
世界の海へ届け

命どろ宝

作詞 梅原司平
作曲 梅原司平

2



戦遠く過ぎても
爆音未だ止まず
校舎をかすめて
黒く影が走る
金網の路を行く
普天間のこどもら
微笑み絶やすな
歌声を枯らすな
黒潮に抱かれて
愛を育てた島よ
又チドウタカラ
世界の海へ届け

命どう宝

作詞 梅原司平
作曲 梅原司平

3

摩文仁の丘に眠る

幾万の島人

礎にささげた

赤いブーゲンビリア

奪われた大地に

くるおしく咲く花は

荒れ地を開いた

祖先の命の花

黒潮に抱かれて

愛を育てた島よ

又チドウタカラ

世界の海へ届け

命どう宝

作詞
作曲

語り

1

生命輝く太陽の島 沖縄 久米島
慶良間諸島 八重山諸島
紅型 芭蕉布 琉球絣 八重山上布 久留米紬
母から娘へ 守り育て 伝え継がれ
あざやかに染め ひたむきに織り上げた女達
黒髪をカンプーに結びあげて
口ずさむ唄は 誰を慕う唄か
その熱い想いに支えられて 男達は黒潮に向う

語り

2

辺戸岬 残波岬 喜屋武岬 砕け散る荒波は
戦場に消えた人々の涙
吹き上げる海鳴りは 夢も語らず明日をも知らず
洞窟に埋もれた こども達の泣き声
沖縄戦学徒隊動員 男子生徒女子生徒
総勢二千三百二十六名 その内犠牲者千二百二十九名
海の色はどこまでも深く そして悲しいまでに青い

語り

3

ていんさぐぬ花は爪先に染めるもの
親の教えは心に染めるもの
その親たちは「命どう宝」いのちこそ宝
そう教えてくれた
凄惨な殺し合いの戦場で 捨て身になって
命の一つ一つを拾いつづけた母親達
その強さ悲しさ美しさ
沖縄の歴史は母親達の歴史
生命輝く太陽の島 沖縄
咲き誇れディゴ 燃えろハイビスカス
ガシユマルよ深く広く根を張れ